

## 図書紹介

### ITTO2009J 熱帯樹林未利用材データベース日本語改訂版

木方洋二・奥山 剛・アルパロ・テハダ・内山 晋，金川 靖・野間順一・長坂 洋・スリ・ヌグロホ・マルスム・屋代 眞（訳）

本データベースをコンピュータにインストールして使用してみた。インストールは簡単で、CDを挿入するとインストーラが起動し、ほぼ自動的にインストールが完了する。インストールが終了すると、デスクトップにITTO2009Jのアイコンが作成されているのでこれをダブルクリックすることによって検索システムが起動する。起動後の操作は、メニューをマウスでクリックする操作で視覚的に検索を進められるようになっている。さて、データベースに収録されているデータであるが、アジア、南米、アフリカの熱帯地域産の多くの樹種に、日本材、北米材、欧州材など温帯産の108種を加えた1100種以上の木材を網羅している。これらの膨大なデータを検索するシステムとして、樹種名で検索する方法と材質と用途で検索する方法とが搭載されている。まずは、樹種名での検索を選択してみる。樹種名での検索では、市場における取引名、学名、現地名のいずれかで検索ができるようになっている。また、画面上の地図をクリックすることによってアジアや南米、アフリカといった地域別にも検索できる。いずれの選択をした場合でも、画面に条件に該当する

樹種名のリストが表示される。表示されたものの中から目的の樹種をマウスで選択すると、同じ画面の中にその木材の概要説明が表示されるが、熱帯材については分布域が地図上に表示されるという便利な機能がついている。さらに、画面下端にあるタブを選択することによって、材質と用途についての解説、物理的・機械的性質についての数値データ、乾燥性や加工性の評価や代替樹種の一覧が表示されるようになっている。すべての操作をマウスのみでも行うことができるので、欲しい情報を簡単に得ることができる。次に用途による検索を試してみる。用途は、外装、建築、家具、その他などの9つのグループに分類され、それぞれの中で柱、梁などの小分類を選択できるようになっている。目的に応じてこれらの分類を選択し、地域を選択するとそれらの条件に合致した樹種のリストが表示される。また、用途とは別に、物性値の範囲や、加工性、材色等を選択することによってそれらに合致する樹種を検索できるようにもなっている。本データベースは、熱帯産及び温帯産の多くの樹種のデータを収録し、また多様な検索システムを搭載している。また、マウスで選択していくだけで検索できるので、非常に簡単に操作することができる。本データベースは充実したデータと簡便な検索システムをもっていることから、熱帯材に関わる人なら入手しておいた方がよいだろう。

入手先：名古屋大学名誉教授 木方洋二先生に連絡ください。

（藤原 健）